

令和6年度第1回恵庭総合計画審議会議事録（要旨）

日時	令和7年1月22日（水）10：00～11：30
場所	市民会館 大会議室
出席者	小磯 修二 （北海道文教大学 地域創造研究センター長）
	後藤 美江 （恵庭市地域女性連絡会）
	落合 信也 （恵庭市商店会連合会）
	武井 和磨 （恵庭青年会議所）
	内倉 真裕美（花のまちづくり推進会議）
	下原 千城 （市民憲章推進協議会）
	北林 優 （恵庭市町内会連合会）
	小田 進一 （恵庭市私立保育連合会）
	杉本 貢 （市民ワークショップ委員）
	小林 祐一 （公募）
	泉谷 清 （公募）
	熊野 稔 （公募）
	今村 敏之 （恵庭市校長会）
	大塚 ひろみ（恵庭市文化協会）
	船田 清 （恵庭市社会福祉協議会）
	茶園 利紀 （恵庭市スポーツ協会）
	土谷 秀樹 （恵庭商工会議所）
	姉崎 敏一 （道央農業協同組合）
	島田 圭一 （恵庭観光協会）
議事	（1）会長及び副会長の選出について
	（2）専門部会の設置及び委員の指名について

流れ	内容
開会	●企画振興部次長 開会のあいさつ
委嘱状 交付	●市長 委嘱状交付
確認	●企画振興部次長 欠席者について説明
市長 あいさつ	●市長 委員をお引き受けいただき、心から感謝申し上げます。 総合計画は今後 10 年間に於いて、どのようなまちづくりをしていくかという大元の計画であります。 前回策定した第 5 期計画は平成 28 年度から令和 7 年度までですが、始期に国から総合戦略というものを自治体ごとに作成し、それに沿ってまちづくりを展開しようという方針が出されました。現在の総合戦略は 3 期目で、総合計画と整合性を保ちながら 10 年間進めてきたということでもあります。 この 10 年を振り返りますと、公共施設が出来て、色々な開発も行い、大きなイベントも行ってきましたが、それら全てが総合計画・総合戦略に沿った事業として進められたところもあり、全体を見れば計画に沿った事業が実施されたと評価しているところであります。 また、恵庭市まちづくり基本条例というものがあり、ここで「総合計画は市民の声を聞かなければならない」ということが記述されておりまして、第 6 期総合計画も令和 6 年度より市民意識調査や市民の広場、ワークショップや中学生アンケートといったものを進めてきております。 そして、この審議会はそれぞれの分野を代表する、或いはそれぞれ活動している皆様方のご意見をいただいて案を作っていくという場であり、まさにその集大成と言ってもいいのではないかと考えております。 千歳市の次世代半導体工場の建設など、近年、恵庭市を取り巻く環境が大きく変わりつつあり、当市も今年度中に都市計画マスタープランを策定するなど、そのような変化も取り入れながら次期総合計画を策定しなければならないと思っております。 私たちがまちづくりを進めてきた中で大切にしてきたのは、恵庭市民の方々が暮らしやすく、より幸せに、生きがいを持てる。そして美しいまちをつくっていくということを中心に考えてきたところで、次期計画もそのようなところを変わらず案を作っていくこととなります。 最後に、重ねて皆様方の貴重なご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。

	げます。
自己紹介	委員、副市長、企画振興部長、企画課長、事務局自己紹介
恵庭市総合計画審議会条例について	●事務局 資料1を用いた本審議会についての概要説明
会長及び副会長の選出	●市長（仮議長） それでは選出に入ります。 会長の選任については審議会条例第5条第1項の規定によりまして、委員の互選によって定めることとなっております。 会長の推薦について委員の皆様からご提案ありますでしょうか。 ●A委員 総合計画は市全体の計画であるため、地域の課題解決に取り組まれ、地域についての見識をお持ちの小磯委員が適任であると考えます。 ●市長（仮議長） ただいまA委員から小磯委員が会長に相応しいのではないかというご意見がありましたが、その他皆様からございますでしょうか。 無いようですので、A委員から推薦のあった小磯委員でよろしいでしょうか。 良ければ拍手をお願いいたします。（全員賛成の拍手） 全員のご賛同をいただいたということで、小磯委員に会長をお願いしたいと思います。 それでは、続きまして副会長の推薦をお願いしたいと思います。 ●A委員 副会長にはまちの将来計画を考える総合計画の経済性を鑑み、土谷委員が適任であると考えます。 ●市長（仮議長） ただいまA委員から土谷委員が適任ではないかというご提案がありましたが、その他ございますでしょうか。 無いようですので、それでは副会長には土谷委員ということでよろしいでしょうか。よろしければ拍手をお願いいたします。（全員賛成の拍手） それでは全会一致で決定となります。 会長と副会長にはご苦勞おかけしますが、よろしくをお願いいたします。 それでは、会長・副会長席にご移動をお願いいたします。
会長及び副会長の	●企画振興部次長 会長・副会長様にそれぞれご挨拶をいただきたいと思います。はじめに

選出 会長及び 副会長の 選出	会長よりお願いいたします。 ●会長 改めてよろしく申し上げます。恵庭の政策に関しては地方創生のための総合戦略の策定検討ということで、お手伝いさせていただいていました。 今回、これから10年のまちづくりの基本指針である総合計画の策定という重要な、重い作業ですが、これまでの経験も踏まえて会長という立場で皆様のご協力を頂きながら取り組んでいきたいと思いますので、これからよろしくお願いいたします。 ●企画振興部次長 続きまして副会長、お願いいたします。 ●副会長 これから恵庭を取り巻く状況というのは、数年前にはあまり考えられなかったようなことになっているのではないかと思います。 色々な外からのファクターもありますが、そういうものをしっかり見据えて、まちづくりに繋げていければと思います。 これからよろしくお願いいたします。 ●企画振興部次長 ありがとうございました。それでは、これ以降の議事進行につきましては会長の方でよろしくお願いいたします。
専門部会 の設置及 び委員の 指名につ いて	●会長 専門部会の設置及び委員の指名について事務局へ説明を求める。 ●事務局 恵庭市総合計画審議会条例第7条に基づき本審議会に専門部会を設置し、専門部会委員は会長が指名することを説明。 ●会長 会長から専門部会に所属する委員を指名。 共生・生活環境部会に後藤委員、武井委員、下原委員、北林委員、成田委員、泉谷委員。 教育・福祉部会に小田委員、杉本委員、今村委員、大塚委員、船田委員、茶園委員。 産業・観光・まちづくり部会に落合委員、内倉委員、小林委員、熊野委員、姉崎委員、島田委員と各部会に6名ずつを配置することを説明。 また、総合調整部会については、各部会の開催時、各部会委員互選により選任された各部長・副部長の計6名及び会長、副会長の計8名の配置となることを説明。 ●会長

専門部会の設置及び委員の指名について	配布資料の説明を事務局に求める。 ●事務局 事務局による資料 2～資料 10 を用いた説明。
説明を受けての意見・質問	●会長 5 期総合計画や総合戦略で重要なのは、人口減少に対してどのように対応していくかという部分だと思います。 全国的に見れば人口減少が急速に進行しており、それを踏まえて政策の在り方など議論を進めてきましたが、その中であって現時点の恵庭市は増加傾向で、さらに千歳市のラピダスや北広島市のエスコンフィールドなど、外発的要因ではあるものの大きな変化が出てきており、そういったものを政策としてどう受け止めていくのかという論点です。 恵庭市の場合、特に一番急がれるのが土地利用の問題ですが、市は現在、都市計画マスタープランを改定中で、その中で人口や人の動きが高まる想定となっています。 これによって人口減少に向かっていく中、一方で外からの動きによって人が増えます。 そのようなまちづくりをどう進めていくのかが非常に難しく、都市計画マスタープランの中では一定の方向が示されていますが、そこでの調整というのも総合計画の議論になってくると思います。 もう一つ議論になるのは、地方創生の人口減少対策に向き合うもので、総合計画と総合戦略をどのように関連付けて分かりやすい長期的な指針として見せていくのかということのも大事なテーマになると思います。 昨年は総合戦略の策定をしたのですが、地方創生もバージョン 2 というような、国に新しい動きが出ており、そこにどう向き合いながら進めていくのかということも今問われています。 このように、これまでにない総合計画をめぐる難しい環境があり、それが第 6 期計画策定の特徴となるのではないのでしょうか。 その中で恵庭市にとっては前向きな動きもあり、色々なところで可能性を秘めた部分がある。それをどう取り込んでいくのか、しっかり受け止めて取り組むというのが大事だと思います。 昨年度、恵庭市の経済産業構造を調査するため、科学的な分析として恵庭市の産業連関表を作成しました。 政策に対して具体的なデータに基づく取組をしていく「EBPM（エビデン

説明を受けての意見・質問	ス・ベースト・ポリシー・メイキング)」という考え方をもって進めていくことが、新しい総合計画につながっていくと感じます。 ここまで私の感想としてお話をさせていただきましたが、ほかに何かご意見などある方はいらっしゃいますか。 ●B委員 会長のお話に関しては、私もその通りだと思います。 一点確認したいことがありまして、資料2の第6期総合計画の策定方針について「将来想定人口は設定せず」と記載があります。 これについては総合計画の10年間という期間を見通すのは大変だからかと思いましたが、総合戦略に関する資料に「社人研が令和5年12月に公表した新たな人口推計を用いた次期人口ビジョンによる人口予測を行う必要があります」とあり、総合計画と総合戦略で記載内容の差異があります。 長期的な計画に将来の人口予測は基礎的かつ重要な部分と考えていますので、社人研の発表した社会的な人口減少を考えなければと思います。 ●会長 大変重要な論点だと思います。ご指摘ありがとうございます。 資料に「本計画では設定せず」とはありますが、人口動向について強い関心を持って議論を進めていくというのは当然のことです。 特に総合戦略では「人口ビジョン」を持って将来の人口がどのように推移していくかをしっかり見極めながら議論していくことを政策の基本としています。 計画では人口を目標値として、それに沿って様々な政策を進めていく、いわゆる「従来型の計画論を採用しないという趣旨」と私は受け取りました。 ただ、私見なので市の方からご説明を願いたいと思います。 ●市長 総合計画に想定人口を記載しないのは、実は現行の5期と同様です。 総合戦略については1期から、人口ビジョンを作り、それに基づいた戦略を出しなさいというものであるため、今回も社人研の発表が出たため、今後、人口ビジョンの修正を予定しております。 また、最初の人口ビジョンでは令和2年をピークとして人口減少するという予測をしていたため、右肩上がりの現状に合わせる形となります。 しかし、そういった決まりもない総合計画には10年後の想定人口は必要ないのではないかと考えております。 そして、先ほどからお話に出ている都市計画マスタープランは現在策定中で、これが具体化する時に想定人口も出しますので、総合計画との整合
---------------------	---

説明を受けての意見・質問	性についての議論もされるかと思います。 ただ、現段階では資料中の通りの記載としています。 ●会長 ありがとうございました。 総合計画の中で人口ビジョンのような考え方をどのように盛り込んでいくのかという部分は審議会でも議論していければと思います。 ただ、個人的には土地利用に関する今年度末策定の都市計画マスタープランの動きなどもあり、ラピダスなどの事業拡大等の動きを計画に含めて進める場合、かなり生の議論として出てくると思います。 そこに総合計画も対応していくことになりますので、今までにない難しい議論であり、非常に重要な論点になると思います。 B委員のご指摘を受けて、これからそういった点に問題意識を強めて取り組んでいきたいと思います。 (他に意見や質問等はなし。)
次回日程等についての説明	●事務局 事務局より、資料 11 を用いた次回日程の説明と専門部会の委員構成に関する資料を配布。
閉会	●企画振興部次長 閉会のあいさつ